

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-1-3		事業名	子育てアドバイザー養成・活動促進事業			
担当	子ども未来局子育て支援部保育・子育て支援課 田中博規 211-2988						
全体計画							
事業内容	親と子を支援できる専門的な知識を持つ子育て・家族支援者(子育てアドバイザー)を養成し、子育て支援の場を広げていくため、子育て・家族支援者養成講座を実施する。また、修了した子育てアドバイザーを中心に、父親が積極的に子育てに関わることができるような場として、日曜ファミリー子育てひろば(サンデーサロン)を開催する。		<年度別の事業内容>				
			(19年度)「子育て・家族支援者養成講座」を実施し、子育てアドバイザーがサンデーサロン等で活動 (20年度)同上 (21年度)子育てアドバイザーがサンデーサロン等で活動 (22年度)同上				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	・子育て・家族支援者養成講座、公開講座の開催 ・サンデーサロンを市内2カ所の区保育・子育て支援センターでそれぞれ9回実施。延べ54人の子育てアドバイザーが活動(このほか本庁舎で開催しているシティサロンで延べ26人の子育てアドバイザーが活動している)。			・子育て・家族支援者養成講座の開催 ・サンデーサロンを市内4カ所の区保育・子育て支援センターで毎月1回実施。延べ144人の子育てアドバイザーが活動予定(このほか、シティサロンでも活動を予定)。			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
サンデーサロン実施施設数		-	2カ所	4カ所	4カ所	5カ所	5カ所
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 市民からの公募により養成された専門的な知識を有する子育てアドバイザーが増えることにより、子育て支援の場の広がりや寄与している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力]事業全体で民間も含めて子育て支援に関する情報の提供がなされる。 [その他の協力]子育て・家族支援者養成講座は、学識経験者などの講師を擁するNPO法人に委託して実施している。 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 一般市民が子育て支援に関する専門的な知識を持つアドバイザーとなり、さらに活動の場で母親、父親への子育て支援が広がっている。</p>							

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	1-1-3		事業名	子育てアドバイザー養成・活動促進事業			
評価(成果)			課題				
専門的な知識を持つ子育てアドバイザーを活用して実施しているサンデーサロンは、子育て支援に関する情報提供の場であるほか、父親の育児参加の場になっており、子育て支援の社会的な広がりにつながっているものと思われる。			効果的な子育てアドバイザーの活用の方法、アドバイザーへの支援方法の検討				
今後の事業の予定・方向							
子育てアドバイザーの質・量と、求められる活動場面を見極めながら、今後の方向性について検討する必要がある。							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	6,700	5,720	720	860	14,000	
	財源内訳	国・道支出金	6,300	4,900	300	300	11,800
		市債	0	0	0	0	0
		その他	400	400	0	0	800
		一般財源	0	420	420	560	1,400
予算	事業費	6,700	6,100	-	-	12,800	
	財源内訳	国・道支出金	6,300	5,300			11,600
		市債	0	0			0
		その他	400	400			800
		一般財源	0	400			400
実績	事業費	5,683	-	-	-	5,683	
	財源内訳	国・道支出金	5,159				5,159
		市債	0				0
		その他	390				390
		一般財源	134				134
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				84.2%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							